

令和 7 年度個別学力試験問題

英 語

(経済学部)

解答時間 80 分

配 点 200 点

注意事項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入してください。
3. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入してください。
4. 問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁及び汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 問題冊子は持ち帰ってください。

1 次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の関係上、H P では公開しておりません。

著作権の関係上、HPでは公開しておりません。

(出典：ミルワード, P. *Japanese Jangles*, 北星堂書店, 1984 年より一部改変)

〔注〕

warlike：好戦的な	deed：行為	devout：信心深い
homogeneous：同種の	mongrel：多民族から成る人種	
indefinable：説明できない	assent：同意	eccentric：変わり者

問 1 (①) ～ (⑤) に入る最も適切な語を下の語群から 1 つずつ選び、必要であれば適切な形に変えて答えなさい。ただし、同じ語を 2 度以上使わないこと。

語群]

agree

lead

live

regard

separate

問 2 下線部(A)を、“they” の指している内容が分かるように、日本語に訳しなさい。

問 3 下線部(B)を日本語に訳しなさい。

問 4 (C)に入れるのに最も適切なものを(ア)～(エ)の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

(ア) In the long run

(イ) Just in case

(ウ) On the other hand

(エ) To make matters worse

問 5 下線部(D)を日本語に訳しなさい。

問 6 (E)に入れるのに最も適切なことわざを(ア)～(エ)の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

(ア) A picture is worth a thousand words.

(イ) Birds of a feather flock together.

(ウ) It's always darkest before the dawn.

(エ) It is no use crying over spilt milk.

問 7 下線部(F)の内容として最も適切なものを(ア)～(エ)の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

(ア) Japanese are afraid.

(イ) Japanese are annoying.

(ウ) Japanese are polite.

(エ) Japanese are unique.

問 8 (G)・(H)に入る組み合わせとして正しいものを(ア)～(エ)の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) (G) We English – (H) We English
- (イ) (G) We English – (H) We Japanese
- (ウ) (G) We Japanese – (H) We English
- (エ) (G) We Japanese – (H) We Japanese

問 9 次の英文は、本文を読んだ後にある高校生が書いた感想文である。(①)～(④)に入る最も適切な語を(ア)～(エ)の中から 1 つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ語を 2 度以上使わないこと。

Reading the text, I think that the author's (①) about the phrase “We Japanese” may be outdated. Nowadays, especially among the younger generation, there's a noticeable shift toward individuality and personal (②). We rarely use the phrase “We Japanese” because we understand the importance of highlighting our own unique experiences and viewpoints.

Modern Japanese education and global (③) have encouraged us to think critically and independently. We are more likely to say “I think” or “In my opinion” rather than generalize our views as representative of all Japanese people.

Therefore, the phrase “We Japanese” is not as prevalent as it once was. We are increasingly aware of the diversity within our own (④) and the importance of expressing our unique perspectives.

- (ア) concerns (イ) exposure (ウ) expression (エ) society

2 次の日本語の下線部(A)～(D)を英語で表現しなさい。

著作権の関係上、HPでは公開しておりません。

(日本経済新聞 2024年4月29日より抜粋)

